

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Bブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第2試合

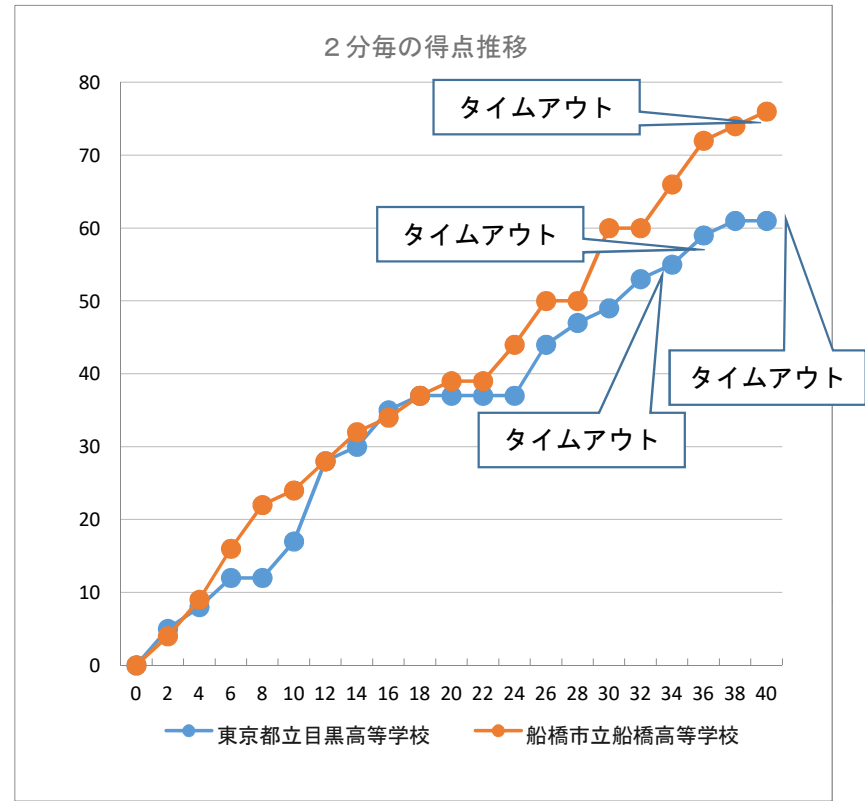
チームA	61	17 1st 24	76	チームB
東京都立目黒高等学校 (東京都)		20 2nd 13		船橋市立船橋高等学校 (千葉県)
		10 3rd 13		
		14 4th 26		
		OT		

Aチーム： 東京都立目黒高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	吉田 萌夢	11	3	3	1	1	0	0	0	0	6	6
2	*	5	渡邊 菜花	24	2	2	6	6	6	6	4	1	4	5
3	*	6	坂井 まなか	4	0	0	1	1	2	2	1	3	3	6
4		7	岩田 侑子	4	0	0	2	2	0	0	0	1	0	1
5		8	長友 愛理	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6		9	加藤 希実	3	1	1	0	0	0	0	4	5	0	5
7		10	中野 美咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		11	河野 菜摘											
9		12	石橋 歩弓											
10		13	佐藤 ひろな											
11		14	山内 梨可											
12	*	15	五十嵐 聖夏	7	1	1	2	2	0	0	0	1	0	1
13		16	國井 菜々子	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1
14	*	17	鶴岡 慈愛	8	0	0	4	4	0	0	4	9	5	14
15		18	三浦 珠李											
HC/TEAM			阪本 健次											
合計				61	7	7	16	16	8	8	16	22	18	40

Bチーム： 船橋市立船橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	石田 美羽	11	1	1	3	3	2	2	1	3	6	9
2	*	5	本間 涼	18	0	0	9	9	0	0	0	3	5	8
3	*	6	石倉 菜々海	12	2	2	3	3	0	0	2	1	0	1
4		7	重井 ひなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	*	8	大屋 佳瑠菜	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
6	*	9	椎名 瞳	12	1	1	4	4	1	1	2	0	6	6
7		10	山本 柚香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		11	木村 美月	6	0	0	2	2	2	2	1	0	0	0
9		12	榊原 伶安	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	2
10		13	日下部 和沙	6	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
11		14	永野 花奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	小笠原 美杏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	菊地 萌乃香	3	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0
14		17	大塚 乃愛	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
15		18	渡部 知新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			井上 知徳											
合計				76	4	4	29	29	6	6	0	8	18	26



戦評 記者者：須藤 毅 (群馬県高体連)

1Q:両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。都立目黒は高い位置からの積極的なディフェンスを展開し、市立船橋はペイントエリアを中心に堅いディフェンスをする。お互いにシュートがリングに嫌われ、流れを掴めない中で攻防が続く。その中、市立船橋は#6のシュートを中心に得点を重ねていく。対する都立目黒は#5がバスケットカウントをとるなど得点を重ねていくも、徐々に市立船橋はリードを広げ、24-17の7点差で終わる。

2Q:市立船橋は2-3ゾーンに変える。都立目黒は#4、#5が3Pを決め、粘り強く追いつけ市立船橋に行きかけた流れを取り返す。都立目黒は#4、#5、#6中心に攻め立て、市立船橋はハーフコートマンツーマンに戻すが、残り4分半には30-30と同点に追いつく。都立目黒が1-2-2プレスで上から仕掛けるが、市立船橋は確実に得点を重ねて、簡単には逆転を許さない。一進一退の攻防が続く、37-37と同点で前半終了。

3Q:後半開始は互いにハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。市立船橋はブレイクを狙いつつ、インサイドの#5を中心に攻撃をかけ得点を重ねていく。都立目黒は#4の3P、#5の2Pで、諦めずに食らいついていく。市立船橋はインサイドを中心にディフェンスでプレッシャーをかけ、簡単に得点を許さない。#4の3P、#5、#13の得点で市立船橋がリードしようとするも都立目黒も諦めずに50-47の3点差で終わる。

4Q:互いに譲らない展開で好ゲームが続く、市立船橋は#5のシュートで手堅くインサイドで得点し、突き放しにかかる。60-49となった残り7:19で都立目黒がタイムアウトをとる。都立目黒のインサイドに対するプレッシャーの効いた、粘り強いディフェンスに対し市立船橋はバスさばきで崩し、#4、#9のシュートで突き放す。お互いに最後まで諦めずにひたむきにプレイしていたが、76-61で市立船橋が勝利し2回戦へと進んだ。

主審	第1副審	第2副審
渡邊 整 (指名)	関口 兼弘 (群馬県)	都筑 陽介 (群馬県)